

令和2年度 都立学校・学校経営シート

校章		都立荒川工業高等学校 全日制課程		進路実績 特徴	四年制大学	10%	短期大学	0%	専門学校	24%	就職	64%	その他	2%																						
		ものづくりは人づくりから ～不安を力に希望を決意へと変える学校～				資格取得(第一種電気工事士:3名 第二種電気工事士22名)																														
基本情報	所在地	〒116-0003 荒川区南千住六丁目42番1号		電話番号	03-3802-1178																															
	アクセス	(1) 常磐線・日比谷線・つくばエクスプレス駅南千住駅下車徒歩12分 (2) 京成本線千住大橋駅下車徒歩10分 (3) 荒川区コミュニティバス「さくら」南千住野球場下車徒歩1分																																		
本学情報	学科	電気科、電子科、情報技術科																																		
	在籍生徒数 教育課程の特徴	電気科(男子171名・女子3名)、電子科(男子58名・女子3名)、 情報技術科(男子152名・女子6名) 3学期制、50分授業 習熟度別指導(数学・英語)																																		
報	ホームページ	http://www.arakawakogyo-h.metro.tokyo.jp/		自律経営推進予算 02年度(単位:万円)	2,800																															
	その他	地域連携事業(保育実習) 企業連携事業(インターンシップ)	校服	標準服	男子・詰襟(黒) 女子・ブレザー(紺)																															
募集情報	募集人員	電気科(推薦21名、学力49名)、電子科(推薦10名、学力25名)、 情報技術科(推薦21名、学力49名) 合計175名(いずれも男女問わず)																																		
	30年度入学生 31年度入学生 02年度入学生	推薦	電気科	1.62	電子科	1.00	情報技術科	1.29	全体	1.37	推薦	電気科	1.24	電子科	1.60	情報技術科	0.84	全体	1.13	学力検査	電気科	0.69	電子科	0.96	情報技術科	0.68	全体	0.74	学力検査	電気科	0.65	電子科	0.10	情報技術科	0.58	全体
その他の特徴	文化スポーツ等特別推薦:ラグビー部(男2)・柔道部(男2)・硬式野球部(男2)・ バスケットボール部(男2)(推薦募集人員の内訳)																																			
主な学校行事	体育祭、文化祭、校外学習、インターンシップ、修学旅行など																																			

目指す学校 どのような時代を迎えようとも、人として備えるべき規範意識を身に付けた魅力あふれる人材として、人間力を高める学校

今年度の重点目標 **今年度の取組と自己評価**

目標①	基礎学力の定着と授業力の向上 ①アクティブ・ラーニングを積極的に活用するとともに、習熟度別や少人数授業、補講・補習を充実させ、学習意欲の向上を図る。 ②生徒理解を目的としたケース会議を実施し、定着が不十分な生徒など、個々の生徒の実態に即したきめ細かな指導を展開する。	
目標②	適性に応じた進路希望の実現と専門性の獲得 ①組織的・計画的なキャリア教育により、社会人として求められるマナーやコミュニケーション能力の向上を図る。 ②資格取得・検定合格に向けた粘り強い指導の実践と企業連携による効果的なインターンシップを展開する。	
目標③	良好な人間関係の構築と地域から信頼される学校づくり ①学校行事や部活動を活性化させ、信頼で結ばれた良好な人間関係を構築するコミュニケーション能力の向上を図る。 ②礼儀、規律、身だしなみ、言葉遣いなど、社会に直結した学校としての一貫した指導により身に付けた規範意識や大人の感性を荒工ブランドとして位置づけ、地域の信頼を得る。	

数値目標	今年度の数値目標の内容	29年度		30年度		31年度		今年度		03年度	04年度	05年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	学力不振による中途退学の防止(中途退学者数)	10	9	10	15	0	4	0		0	0	0
目標②	確実な進路実現(進路決定率)	100	100	100	100	100	100	100		100	100	100
目標③	良好な人間関係の構築による人間力の向上(部活動加入率)					85	84	85		90	95	100

教育目標の実現に向けた3つの支援

ミッション

アクティブラーニングを各授業で積極的に取り入れ、ティーチング（指導）からコーチング（支援）へと授業をコーディネートし、生徒の学び合いを大切にしています。



ビジョン

2年生では、45社と企業連携したインターンシップを実施しています。正しい勤労観や職業観を身に付ける貴重な機会となるとともに、高校卒業後、即戦力として産業社会に貢献できる力が育成されるなど、生徒への期待が高まります。



コミュニケーション

挨拶の励行をはじめ、地域ボランティアの参加、外部と連携したセーフティ教室など社会性や規律を重んじる態度を大切にしています。特に、本校における年間を通じた柔道の授業は、心を落ち着かせてから授業（稽古）に挑むことで各生徒に思いやりの心の育成を期待し、精神面で人間力強化を図っています。



生徒へ寄り添い、真剣に向き合う

「ものづくりは、人づくりから」を理念に、工業高校の生徒として「人間力」を身に付ける取組を大切にしています。その一つに、挨拶や身だしなみの指導があります。特に本校では、世の中の流行や若者の文化に左右されることなく、一貫した指導体制の中で「大人の感性」を育てています。また、先生や仲間との信頼によって構築できる良好な人間関係は、自尊心を高め、他者を思いやる個々の育成に資することから、学校行事や部活動を生徒の主体性で実施できるように指導しています。そのため、部活動は、運動系、文科系を問わず、とても盛んです。顧問は、仲間と一緒に切磋琢磨することの意味を説くとともに、「連帯感」や「チーム効力感」を体感させ、荒工の生徒としての誇りをもつ大切さを生徒と真剣に向き合いながら指導しています。

このような指導の中で育成された人間力は、電気・電子・情報技術の専門性の向上に大きな力となっていることは言うまでもありません。なぜなら、例えば教科指導であっても、人間力を土台に生徒の可能性を期待する「人づくり」の指導だからです。

数値や成果ばかりが期待され、その結果をもって人を評価される時代であるからこそ、荒川工業高校は、高い専門性と熱い思いをもって全力で生徒に寄り添い、評価以上に評判を大切にす、日々「教育力に富む」学校づくりを目指しています。

